

大権啓発

輝き

(第 3 5 号)

発行日 平成 2 5 年 2 月 1 日
発行者 玉島東中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷市玉島東公民館
所在地 倉敷市玉島乙島 6897-2
TEL・FAX (086) 526-7726



高齢者の方と楽しいひと時を過ごしました

人権学習推進委員

10月4日(木) **デイサービスセンターよしうら**で、高齢者とのふれあい交流会が催されました。内容は「アコーディオンで楽しく歌おう!」「和菓子づくり」でした。参加者は45名ほどで、当初は戸惑いもあり不安そうな高齢者もおられましたが、アコーディオンの演奏が始まると、ほかの人の大きな歌声に促されるように歌声が広がっていきました。キョロキョロしていた方も笑顔いっぱいになるとともに、懐かしい曲にうれし涙もこぼすひと時となりました。



その後、大きなテーブル4つに分かれて和菓子作りをしました。今回は菓子店の店主の指導で菊の花を形どった和菓子を作りました。4つの丸い形のものゝ緑の葉の形ものを重ねていきました。それぞれ色々な形、雰囲気のある菊の花ができました。「家にいるとこんなに話したり笑ったりしない。」「デイサービスを利用すると楽しい。」などの声が聞かれました。中には、自らの人生観を語ってくださる方もおられました。元気いっぱい日々を過ごしておられる様子をうかがい、こちらまで元気をいただいた交流会でした。



アコーディオンの伴奏に合わせて、「リンゴの歌」「青い山脈」「瀬戸の花嫁」などの懐かしい曲を歌いました。



手作りの和菓子を食べながらのお話タイム。高齢者の方と楽しくお話ができました。

広報紙「輝き」は、玉島中央愛育委員会、上成地区社会福祉協議会、乙島地区愛育委員会、乙島東地区愛育委員会の皆様のご協力により、玉島東中学校区全戸に配布しております。
《広報紙についてご意見・ご感想がありましたら、事務局までお知らせください》

ハンセン病 のこと、正しく理解 していますか？

～玉島4中学校区合同研修視察に参加して～

人権学習推進委員



▲学芸員から説明を受ける参加者（回春寮）

9月12日（水）8時に40名が乗ったバスで玉島文化センターを出発し、『人間回復の橋』邑久長島大橋を渡り、**国立療養所長島愛生園**に到着しました。小豆島が目の前に眺望できる高台にある旧事務本館の愛生園歴史館で、学芸員から歴史と現状などの説明を受けました。展示物についての説明は、新たな偏見を作り出さない決意を秘め、熱がこもっており、実に印象的でした。その後で、園内の歴史的建造物などを学芸員に引率していただいて巡りました。収容棧橋の跡、入所者が各種の検査や入所手続きなどを通して社会との断絶を感じた収容所（回春寮）、監房の跡、歌人明石海人も暮らしていた目白寮を見たあと、死後も偏見と差別で今なお故郷に帰れない3500柱以上が、偽名で眠っている納骨堂で花束と黙とうを捧げました。年間を通じて供花が絶えないそうです。およそ1時間の島内視察を終えて、本館に帰り、昼食となりました。

午後は入所者で自治会役員の方が、昭和18年の入所から84歳になる現在までのご自分の経験と思いを語られました。感情を押さえ気味に淡々と語られる愛生園での暮らしと社会との関わりについてお聞きし、ハンセン病が完治していても外見的后遺症で差別された現実が理解できました。1時間にわたり話された熱情を受け止めなければならないと思いました。

長島愛生園を離れて、瀬戸内市内邑久町の竹久夢二の生家と隣接する少年山壮（アトリエ）を訪ねました。岡山県民が誇りに思っている夢二の50年の生涯を回顧し、多くの作品に触れることができました。今回の研修を意義深いものと振り返りながら、予定の17時には玉島文化センターに帰着しました。



▲入所者の方による講演

地域の小・中学生の 人権作品が展示されました

人権学習推進委員



「地域の子どもの人権問題解決への思いを知ろう。」そうしたねらいで、今年度も玉島東中学校区の小・中学生から作品を募集し、**玉島東公民館**図書コーナーに展示しました（12月1日～1月13日）。

展示された作品は、ポスターが79点、標語が141点の計220点で、いずれも作者の思いが素直に表現された力作ばかりでした。“友だち” “仲間” “絆（きずな）” “思いやり”などのキーワードがならんでおり、今の世相を反映しているように思えました。

期間中、公民館の利用者はもちろんのこと、「ここに作品が展示されていると学校から聞いて来ました。」という保護者や祖父母の方もおられました。中には、「このポスターのように、みんなでいじめのない社会をつくらんと…」と作品に込められた思いを家族で語り合う姿も見られました。

みんな上手に
描いとるなあ～



人権学習推進委員

第64回全国人権・同和教育研究大会に参加して



▲全体会の様子（マスカットスタジアム）

12月1日（土）、2日（日）の2日間にわたって、第64回全国人権・同和教育研究大会が、今年岡山県で開催されました。初日の午前中は、**マスカットスタジアム**でオープニングと全体会、午後と2日目は各指定会場で分科会が行われ、全国から多数の方々に参加されました。

この大会を通して、人権についての理解を深め、人権問題の解決を目指すことの重要性を改めて痛感しました。人権問題は、地域、子ども、女性、障がいをもった人、在日外国人、高齢者、ハンセン病などの回復者、同性愛者、HIV陽性者など多岐にわたります。「口に出せない思いこそ、一番伝えたいこと、分かって欲しいことなのではないか。」という発表者の言葉が、とても印象に残りました。発表者の実体験に基づく考えや参加者の質問がとび交う真剣な討論に接することができ、大へん勉強になりました。



にこりん

公民館で「にこりん」
「ココロン」入りのポケット
ティッシュを配布して
います。ご自由にお取り
ください♪



コミュニティ協議会の活動について

人権学習推進委員

～乙島地区八十八ヶ寺巡り～

11月18日(日)秋晴れの好天に恵まれ、乙島地区コミュニティ協議会・社会福祉協議会の共催による八十八ヶ寺ウォーク大会を行いました。老若男女約120名の参加のもと全員が完歩したことは大へん意義深いと思います。

昨年は1番～34番をまわりました。今年は35番～62番まで奥の院を含め31か寺を巡る行程を3時間かけて完歩し、乙島地区の先人の皆様方の努力・信仰心・財力は現代の我々も大いに学ぶべきものであると思いました。こうした取り組みを通して、地域を愛し人を愛する乙島人になりたいと思います。



地域の特徴ある取り組みシリーズ ②



上成地区 三世代交流

人権学習推進委員

12月22日(土)上成ふれあいの家で、毎年恒例となった世代間交流の行事である、餅つきと注連縄作りを子どもから高齢者まで参加して開催しました。9時から4台のかまどでもち米を蒸し、2基の石臼で子どもも、若いお父さんも力を入れて、50キロの米を餅につき上げました。そのお餅を早速地区社協の婦人部やPTAのメンバーがお雑煮とぜんざいにして、皆さんに食べてもらい、大へん喜ばれました。

後半は地域のお年寄りに一人ひとり指導をしてもらいながら注連縄を作って、自慢の作品を各自持って帰り、家に飾り正月を迎えました。たくさんのもち米、注連縄の稲藁の確保まで大勢の地域の皆さんにお世話になってこの楽しい行事ができました。



とんど焼きが
楽しみだなあ♪

学校園の特徴ある取り組みシリーズ ③ 乙島東小学校編



友達と協力して開催した ユーカリ祭り

事務局員

乙島東小学校では、毎年12月にユーカリ祭りを行っています。魚釣り・すごろくゲーム・もぐらたたき・紙コップつり・福笑い・鏡の迷路・のろいの館・お化け屋敷・紙コップ積み…などアイデア満載のお店です。どの学年もよく工夫され、気合の入ったお店ばかりで、地域の皆さんや乙島東幼稚園の園児を招いて楽しく半日を過ごすことができました。

この活動を通して子どもたちに、「友達と協力することの大切さ」や「人に喜んでもらえる喜び」「やるべきことをきちんとする」「みんなに優しくする」という気持ちを育てていきたいと願っています。

保護者からも「大人もすごく楽しめた。童心にかえって、夢中になれた。」「児童は、よく考えて上手に作っていた。役割分担もよくできており、いきいきと活動できていた。」などの感想を寄せていただきました。

